

記者発表（配布）資料

令和5年12月28日

徳山下松港内の大島干潟が「令和5年度（2023年度）Jブルークレジット®」に認証され、クレジット購入申込者の公募がはじまります。

問い合わせ先			提出チェック
担当課	担当者	電話	<input type="checkbox"/> 部数 28 部
水産課	山本、久行	0834-22-8366	<input type="checkbox"/> 原則概ね 1 週間前まで

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、ブルーカーボン生態系を活用したCO2吸収源の拡大を図るため、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）が、藻場・干潟での保全活動等の実施者（NPO、市民団体等）により創出されたCO2吸収量を、クレジットとして認証された「Jブルークレジット®制度」によって、CO2削減を図る企業・団体等に対してクレジット取引を開始されます。

昨年度に引き続き、周南市は、山口県漁業協同組合周南統括支店と大島干潟を育てる会との連名で申請し、認証を受け、下記のとおりクレジット購入申込者の公募がはじまりますのでお知らせします。

記

- プロジェクト名称 : 「大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクト in 徳山下松港」
- 申請者 : 山口県漁業協同組合周南統括支店  
大島干潟を育てる会  
周南市
- 認証・発行クレジット量 : CO2吸収量 29.3 [t-CO2]
- Jブルークレジット購入の公募について
  - 公募方式 : 総量分配方式（口数型）
  - 購入申込1口あたりの金額 : 税込 99,000 円（消費税等 10% 9,000 円込）
  - 公募（購入申込）期間 : 令和6年1月4日（木）～令和6年2月21日（水）
- 令和4年度（2022年度）Jブルークレジット購入申込者公募実績【参考】
  - 認証・発行クレジット量 : CO2吸収量 32.4 [t-CO2]
  - クレジット購入申込者 : 17 企業・団体
- その他 : 詳細については、次のJBEのHPをご参照ください。
  - ・トップページ : <https://www.blueeconomy.jp/>
  - ・該当ページ :  
大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクト in 徳山下松港  
<https://www.blueeconomy.jp/archives/2023-3-public-offer/#23-13>



# プロジェクト名：大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクトin徳山下松港

## プロジェクトの概要

- 大島干潟は、徳山下松港内の浚渫土砂を活用し造成された約29haの人工干潟（平成29年度完成）です。干潟造成後より、アマモ場・コアマモ場が新たに形成されており、現在までに、**多様な生態系が構築**されています。
- 平成29年11月、大島地区住民と山口県漁業協同組合周南統括支店（以下、漁協）に所属する漁業者の参加・協働により、貴重な地域資源である干潟を活用した、地域の活性化を目指して「**大島干潟を育てる会**」（以下、育てる会）を設立し、大島干潟の保全活動を行っています。
- 育てる会**は、**アサリ・カキ資源の保全や増殖活動**、同干潟内のアマモ場・コアマモ場の保全のほか、国・周南市が連携して毎年実施する**環境学習活動の支援**を行っています。**漁協**は、漁業権が設定されている干潟を含む海域での活動について、運営委員会に諮り許可するとともに、**アマモの保全のため、干潟内をナマコ桁網漁の禁漁区に設定**しています。**周南市**は、干潟の管理者として育てる会の活動を支援し、昨年度からブルーカーボン推進事業を立ち上げ、**大島干潟を拠点に周南市内の他地域にもブルーカーボン生態系の創出・拡大**を実施します。
- これら**3者**が連携協働して実施している大島干潟での活動は、**今後の継続的な活動により多様な生態系の維持及び拡大**につながっていくことに期待されています。

## プロジェクトの特徴・PRポイント

- 大島干潟での保全活動を通じて、ブルーカーボン生態系の維持・拡大が行われており、**生物多様性の向上や地球温暖化の抑制**にも貢献しています。
- 地域資源である大島干潟は、保全活動の拡大による**地域の活性化や水産振興**を目指しており、ブルーカーボン・オフセット制度を活用して、ここから多くの人々がつながることによって、さらなる**保全活動の活性化及び持続化**、また**カーボンニュートラルへの貢献**を推進していきます。

